

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.11.19-11.30

記事の詳細は、情報検索サービス
『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

日揮が建設を計画しているインド・チュンナイでの「チュンナイ総合工業団地」完成イメージ



11月19日(月)

中国・タイ、生産同比率
ソディック/放電加工機
ソディックは、放電加工機の中国とタイでの生産比率を2014年3月期中に同等にする。タイと中国の蘇州、廈門で月産100台ずつを、蘇州を50台にして、タイを150台に引き上げる。(7面)

中国・香港の商習慣に対応
パシフィック/中小向けERP
パシフィックビジネスコンサルティングは、米マイクロソフトの中堅・中小企業向けERPを2013年3月に発売。日本・中国・香港の商習慣に合わせた機能を追加し、各國の言語で提供。(9面)

11月20日(火)

奇瑞・ジャガーが合弁工場
年産13万台/常熟市

中国・奇瑞汽車と、印タマ・モーターズ傘下のジャガー・ランドローバーは、江蘇省常熟市で折半出資の合弁工場の建設に着手した。年産能力は13万台。中国紙が報じた。(時事=2面)

河西工業、日米中に開発拠点
現地顧客の近接地/ニーズ即応

河西工業は、設計開発を從来の日本1極体制から日本・米国・中国の3極体制に移行する。現地顧客の近接地に開発機能を置くことで、ニーズに迅速に対応できる開発体制を構築する。(5面)

安川電機、瀋陽工場に開発拠点
モーター関連製品/中国オリジナルも
安川電機は、サーボモーター・サーボアンプを製造する遼寧省瀋陽市の工場内に、新たに開発センターを設置した。開発スタッフは100人規模へと増やす。中国向けオリジナル製品開発も。(6面)

11月21日(水)

鉄鉱石、3年ぶり安値
トン105ドル/中国・欧州鉱化
国内大手鉄鋼メーカーが、海外資源メ

ジャーから調達する2013年1~3月期の鉄鉱石価格は、約3年ぶりの安値水準となる見通し。1トン当たり105ドル前後。中国、欧州の需要が弱い。(1面)

中国・インドネシアに新工場
ゴーシュ/人件費急騰に対応

ゴーシュは、インドネシアと中国に自動鋳造プレス機を設備した新工場を2013年春に建設する。自動車の変速機用の鋼造品を生産する。プレスと前後工程を自動化、人件費の急騰に対応。(8面)

11月22日(木)

昭和電工、海外で生産
二次電池部材/中国・米国が候補

昭和電工は、電気自動車などに使う高性能リチウムイオン二次電池部材を海外で生産する検討を始めた。負極材の海外生産は、米国と中国に持つ黒鉛電極の生産拠点を候補地とする。(1面)

大連で異形磨棒鋼を生産
MTK・豊田通商/THK向け

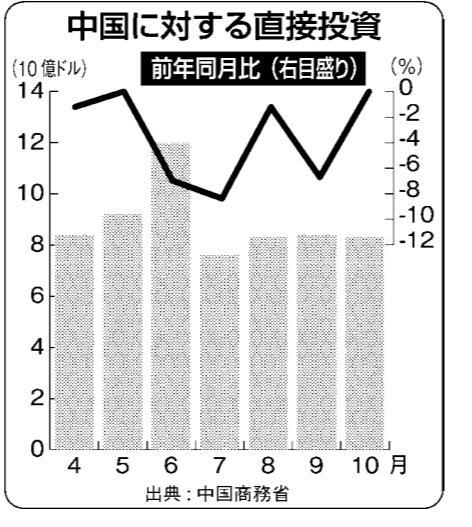
エム・ティ・ケーと豊田通商は、中国で異形磨棒鋼を生産する。大連市に設立した磨棒鋼製造販売会社の工場が2013年2月に操業。直動案内機器最大手のTHKの現地工場に供給する。(10面)

神鋼、中国・韓国で受注
LNG設備/世界需要旺盛

神戸製鋼所は中国・韓国でLNG受け入れ基地の主要設備であるLNGガス化装置を相次ぎ受注した。火力発電の主燃料のLNGの需要は世界的に旺盛。東南アジアなどでの受注拡大を狙う。(1面)

日系企業・中国戦略変わりなし
成長市場に重点投資

逆境下でも成長市場の中国に対する日



Asia

11月19日(月)

タイで4輪車用クラッチ生産
FCC/年産52万8000台
エフ・シー・シーは、タイ・チョンブリ県の工場敷地内に4輪車用クラッチの新工場棟を建設、2013年2月に稼働する。年産能力52万8000台。日本で生産している一部を現地生産に。(6面)

インドネシア工場を拡張
ユニプレス/「ダットサン」部品増産
ユニプレスは、日産自動車の「ダットサン」ブランド車の車体用プレス部品の受注に対応する。インドネシアの工場建屋を拡張、新たに2000トンと600トンのプレス機を導入。(6面)

韓国首位、2305人
中国は4分の3に/工作機械見本市
日本国際工作機械見本市の海外の国・地域別来場者は、首位が韓国の2305人、前回(2年前)から305人増。2位の台湾は352人増の2103人。中国は3位で353人減の954人と約4分の3に。(7面)

JIMTOF海外来場者数の比較

今回(2012年)	前回(2010年)		
国・地域	人数	国・地域	人数
1.韓国	2305	1.韓国	2000
2.台湾	2103	2.台湾	1751
3.中国	954	3.中国	1307
4.タイ	421	4.タイ	342
5.ドイツ	343	5.ドイツ	235
6.米国	232	6.シンガポール	221
7.インド	228	7.香港	220
8.インドネシア	192	8.ドイツ	170
9.マレーシア	179	9.米国	165
10.シンガポール	163	10.マレーシア	147
その他	1227	その他	1070
計	8347	計	7628

「タイセン・アソシエーション」加盟11社	
国・籍	社名
日本	NTTドコモ、パナソニック、NEC
韓国	サムスン電子、SKテレコム
中国	ファーウェイ
米国	インテル、スプリント・ネクストル
イギリス	ボーダフォン
フランス	フランステレコム(オレンジ)
スペイン	テレオニカ

ドコモ、「Tizen」に注目
サムスン・インテル主導のスマホOS

韓国サムスン電子と米インテルが、開発を主導するスマホ向けOS「Tizen」に日本の通信事業者が注目。NTTドコモは、ソフト流通の仕組みを提言。アンドロイド頼りの打破を狙う。(11面)

堀場製作所、新興国ニーズに対応
マラリアなど/特化型の血液検査装置

堀場製作所は、中国、インド、ブルジルなど新興国の現地医療ニーズに対応する市場特化型の血液検査装置の開発に着手した。マラリアやデング熱といった特定の感染症の診断装置を開発。(13面)

環境改善会計、アジア導入支援
インドでモデル企業/台湾から視察

経済産業省とアジア生産性機構は、日本の産業界が確立した環境改善手法のマテリアルフローロースト会計(MFCA)のアジア普及を促進する。台湾10社視察、インドでモデル企業活動。(15面)

電気工事、ミャンマー・印に照準
日系製造業の工場進出支援

電気工事会社が、海外事業を拡大する。きんぐはミャンマーに駐在員事務所。インドで受注活動。住友電設は海外売上高が初めて300億円に達しそうだ。背景に日系製造業の工場進出。(15面)

タイにトラック運転教習所
豊田通商/安全向上・定期納入

豊田通商は、タイで部品輸送用トラックドライバーの安全教育をする教習施設を2013年春に全面稼働する。スキルアップして輸送の安全性を向上する。トヨタの工場に定期納入する。(5面)

11月21日(水)

損保、収益・リスク対策両立

タイ洪水1年/現地ニーズ拡大

タイ洪水から1年。損害保険会社が対策強化。日系企業の現地ビジネスの停滞懸念は一変し、進出や追加の設備投資が相次いでいる。損保は収益基盤の確立とリスク分散の両立を狙う。(1面)

タダノ、タイに2工場建設
カーゴクレーン/年2000台

タダノは、タイでトラック荷装型のカーゴクレーン生産を拡大する。2013年6月に立ち上げるタイ新工場に加え、2015年度にタイ第2工場を建設する。2018年度は2000台を目指す。(9面)

LED標準化、アジアで支援

ニーズで規格提案/照明器具工業会

日本照明器具工業会は、アジアにLED照明器具の標準化支援事業に乗り出した。価格や性能のニーズを調査、各国の実情に合った規格や認証制度を提案。日本製品の輸出促進につなげる。(13面)

11月20日(火)

電通国際、東南ア拠点を増設
インドネシア・タイ/日系にクラウド
電通国際情報サービスは、インドネシアとタイに営業拠点を2012年度に開設する。現地進出の日系企業にソフトやクラウドサービスを提供。本社と連携した製品開発などを支援する。(9面)

電通国際情報サービスの
主な海外拠点

ロンドン
上海
ニューヨーク
タイ
シンガポール
インドネシア
既設の拠点
拠点を新設する国

旭有機材、インドに鋳型材工場
月産能力4000トン

旭有機材工業は、インドで自動車エンジン生産などに使う鋳型材料のレジンコートドッドサンド(RCS)工場を新設する。現地企業のモディラバー合弁会社を設立する。月産能力4000トン。(11面)

日韓複合輸送、最速3日

運賃5分の1/商船三井フェリー

商船三井フェリーは、トレーラーとROBO船を組み合わせる韓国への複合一貫輸送を強化。日本から最速3日の新サービスを開始。航空貨物並みスピーディ。運賃は航空貨物の5分の1。(17面)

11月22日(木)

カンボジアに熱視線

日系相次ぎ進出/インフラに課題

日系企業が「チャイナプラスワン」の候補としてカンボジアへの関心を高めている。域内での原則開港撤廃を目指すなど経済活動が盛ん。ただ、電力など社会基盤に課題は残る。(深層断面=30面)

シャープ、鴻海との交渉停滞
IGZOパネルの搭載見送り

シャープは、検討してきた台湾・鴻海精密工業との中小型液晶パネルでの協業について、交渉が停滞していることを明らかにした。IGZO液晶パネルの業務用モニター搭載を見送った。(3面)

タイにトラック運転教習所

豊田通商/安全向上・定期納入

豊田通商は、タイで部品輸送用トラックドライバーの安全教育をする教習施設を2013年春に全面稼働する。スキルアップして輸送の安全性を向上する。トヨタの工場に定期納入する。(5面)

11月23日(金)

王子HD、東南ア・南米に照準

中期計画/売上高1兆4000億円

王子HDが中期経営通し。2015年度に売上高1兆4000億円(12年度見込みは兆2600億円)、営業利益900億円(同兆80億円)。海外は南米や東南アジアなどを重点地域に位置付けて事業展開。(7面)

デジカメ1億台下回る

来年/キヤノン首位、サムスン4位

デジタルカメラの2013年出荷が1億台を下回る。7.2%減の9382万台。キヤノンがシェア18%で首位。ニコン18%、ソニー14%、韓国サムスン電子13%。台湾デジタルミラーレンズが見通し。(11面)

11月24日(土)

セラ射出成形、東南ア展開

アドバネクス/光ケーブル部品
アドバネクスは、セラミックスの射出成形事業を強化する。完全子会社の第一

11月25日(日)

東芝キヤリヤ、タイで技術相談

業務用空調機/需要地の近く

東芝キヤリヤは、業務用空調機の技術相談に応じるカスタマーセンターをタイに2013年春に設置する。現在は日本で対応、インドやインドネシアなどのアジアで顧客対応。(7面)

11月26日(月)

デジカメ1億台下回る

来年/キヤノン首位、サムスン4位

デジタルカメラの2013年出荷が1億台を下回